

クイックオープン式 カートリッジフィルターハウジング (TRQ) 取扱説明書



www.oztter.com

OZTTER CORPORATION

目次

◎ ご使用上の注意	2- 3
◎ 各 部 の 名 称	4
◎ 操 作 手 順	5 - 6

ご使用上の注意

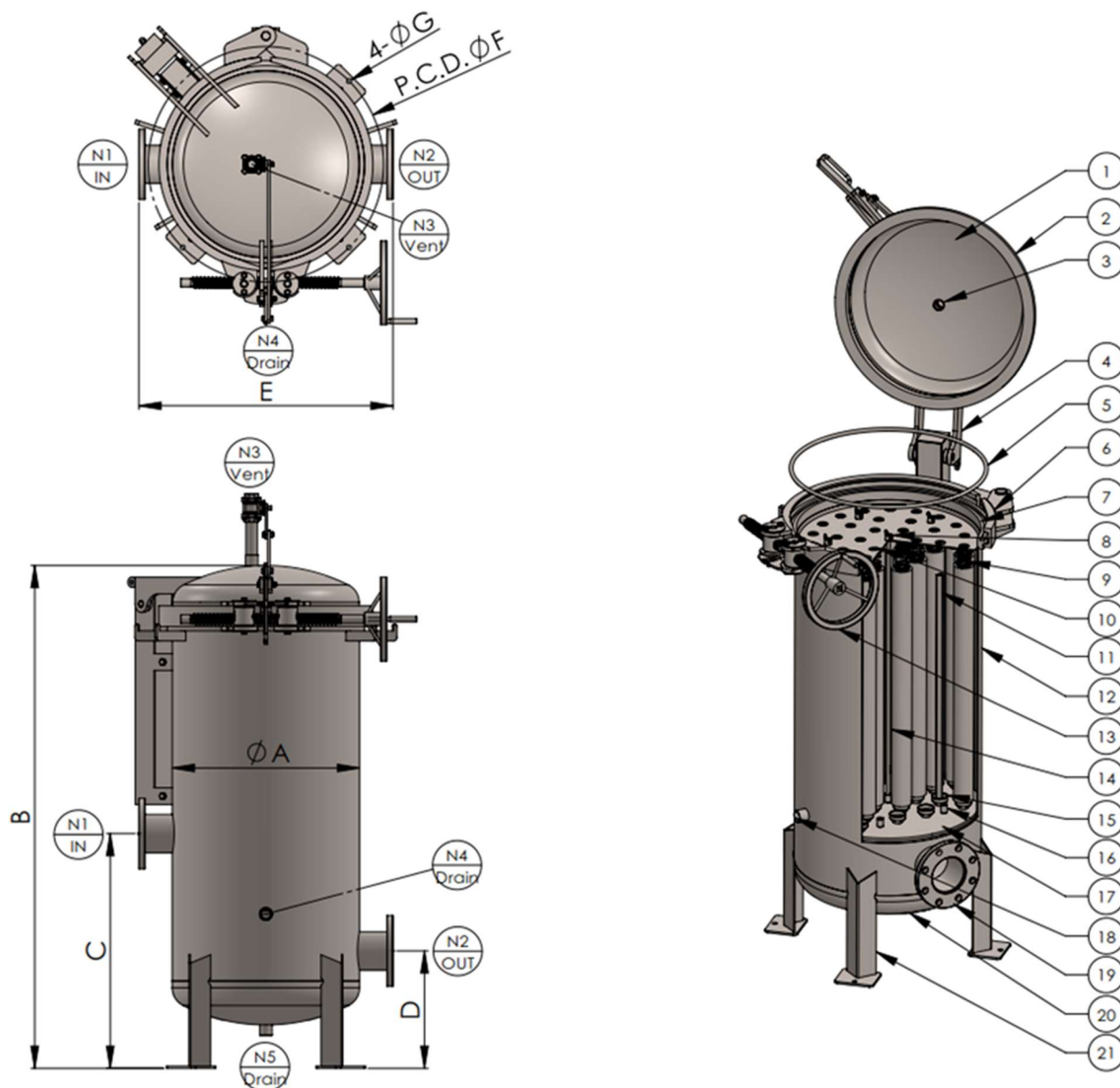
1. 本書に記載されている注意事項及び操作過程を遵守してください。
2. 本書に記載されてある使用方法以外で使用した場合、安全は保証できません。
3. 本製品は圧力容器に属するため、担当技術者が設置してください。
4. 本製品を運搬、設置、使用する前に必ず本書をお読みください。
5. 設置の前に、製品に破損や部品の紛失がないことを確認してください。破損や変形が生じた場合は、製品の使用を止めてください。
6. 使われる流体が該当するハウジングに適合するか、事前にご確認ください。
7. 設計仕様に従って使用し、設計圧力と操作圧力の範囲に注意してください。
8. ハウジングは平坦な所に設置・固定してください。振動のある面や凹凸のある面には設置しないでください。
9. ハウジングが完全に設置され、適切に配管されるまでは、蓋（カバー）を開けないでください。任意に開ければハウジングが倒れる恐れがあります。
10. 圧力の急激な増減や不安定な水圧による液漏れを防ぐため、圧力開放バルブを設置して、水圧を安定させることを推奨します。
11. バルブの急激な開閉や生産ラインでの圧力脈動は、ハウジングが破損する原因となります。

また、ハウジングへの衝撃や過大な流量、逆流等は、ろ材やハウジングの破損の原因となりますので、このような使用方法は避けてください。

12. カートリッジフィルターを交換する際は、必ずハウジング内の圧力を放出してください。特に高温流体を使用している際は、その流体が噴出することがあるので注意してください。
13. 適切な O リングを使用し、また O リングの交換が必要かどうか定期的に点検してください。
O リングの劣化、損傷等は流体が漏洩する可能性に繋がります。
14. プラスチック製のパーツがある場合、長期間の使用により劣化しますので、定期的に点検を行い、必要な場合は交換してください。

各部の名称

No.	名称	Description	No.	名称	Description	No.	名称	Description
1.	カバー	Top cover	2.	カバーフランジ	Top cover flange	3.	エアーベント	Vent
4.	スプリング付きヒンジ	Raise cover units	5.	O-リング	O-ring	6.	クランプ	Clamp
7.	シェルフランジ	Shell flange	8.	ナット	Nut	9.	スプリング	Springs
10.	プレッシャープレート	Pressure plate	11.	カートリッジポスト	Cartridge post	12.	シェル	Shell
13.	ハンドル	Turntable	14.	ネジシャフト	Threaded rod	15.	カートリッジ受け座	Pedestal
16.	ナット	Nut	17.	仕切板	Cartridge support plate	18.	ドレン	Drain
19.	入口/出口	Inlet/ Outlet	20.	鏡板	Bottom cover	21.	脚	Support leg



操作手順

一、ハウジングを固定する：

- a. 脚②①を適切な場所に置き、ボルトで地面や機械に固定する。

二、配管：

- a. 出入口①⑨にメインホースを接続して、配管が完了。
- b. ベント③にバルブと圧力計をつける。

三、ハウジングを開け、内部の部品を取り付ける：

- a. クランプ⑥に取り付いているハンドル⑬を右に回すと、クランプが外側に向かって拡張する。クランプがカバー①から外れれば、カバーを全開して、スプリング付きヒンジ⑤の穴に留め金を差し込む。
- b. 中にあるプレッシャープレート⑩とスプリング⑨を取り出す。
- c. 使用するフィルターの穴にカートリッジポスト⑪を通す。スプリング⑨をフィルター上部の穴中央に当てはめる。
- d. プレッシャープレート⑩の小さい方の穴にネジシャフト⑭を通し、大きい方の穴にスプリング⑨が当てはめ、時計回りでナット⑧を締め付ける。
- e. 液漏れ防止用のＯリング⑤が溝にはまっているかを確認し、留め金を元の位置に戻す。
- f. カバー①を上から真っ直ぐ下してＯリング⑤とぴったり合わせる。クランプをシェルフランジに合わせ、ハンドルを反時計回りに回して締める。

四、 **テスト**：

- a. 出口 N2 及びドレン N4N5 を閉じて、ベント N3 を開ける。
- b. 入口 N1 から水を入れ続け、ベント N3 から水が溢れ出たところで、バルブを閉じる。
- c. 各接続部で液漏れがないかをチェックする。

五、 **漏れ止め**：

- a. 液体漏れが発生した場合、まず出入口 N1N2 及びドレン N4N5 を閉じて、ベント N3 を開けて、ハウジング内部の圧力を抜く。
- b. 一旦クランプ⑥を緩めて改めて締め付ける。
- c. 再び入口 N1 を開けて、徐々に加圧しながら液体漏れするかどうか確認する。
- d. 漏洩が止まれば、出入口 N1N2 を完全に開けて濾過を行う。

六、 **ハウジングの動作を停止する**：

- a. 稼働中のハウジングを停止する場合、まずは出入口 N1N2 を閉じて、内部の水の流れを止めてからベント N3 を開けて、シェル内の圧力を徐々に抜いていく。圧力を完全に抜いてからハウジングを開ける。